

私が同志社女子大学を志望校と決めた理由

音楽療法士の資格が取れる認定校の中で唯一実技なしの入試形式で、音楽を基礎から学べると思ったからです。

受験勉強の進め方【1学期】

部活をしていたので、正直あまり勉強できてなかったです。それでも、スキマ時間に単語を覚えたり、部活帰りに週2で塾に通っていました。塾に行ったことで部活帰りでも頑張れました。

初めは、勉強法などが分からなかったのですが、ネット等で調べ、参考にしていました。受験期は毎日必ず、一日のスケジュールを立てて、計画的に勉強することを意識していました。

受験勉強の進め方【夏休み】

部活もあったので、より効率的に勉強するようにしていました。部活でできなかった分、休日は毎日11時間くらい勉強しました。塾の夏期講習も毎日行っていました。とにかく基礎固めを重視して勉強していました。教科は、公募へ向けて、英・国に絞っていましたが、不合格で勉強がとても大変だったので、一般のことも考えて、この頃からしっかり勉強しておきたかったです。

受験勉強の進め方【2学期～入試直前】

ひたすら過去問を解き、公募、一般ともに10年分やりました。英語は、けっこう、文法と関連している問題が多かったので、ネクステを3周はし、よく出る問題はノートにまとめていました。点数が安定しなくても、ポジティブに切り替えていました。入試の本番前もまとめノートや暗記系を見直しました。実際に入試で、見直したところが出たので、本当に直前まで頑張っていました。

受験期に気を付けていたことやスランプの対処法

早寝早起きを心がけていました。勉強のアプリで勉強時間を記録して、モチベーションを保っていました。お昼の後など、特に眠くなってしまうので、仮眠を15分ほど取るようにしていました。やる気がどうしても出ないときは、好きな音楽を聴いてリラックスするようにしていました。スマホは全然触らず、同じ教科をずっとやると、飽きてくるので、教科を変えて勉強していました。

受験生のみなさんへ

コロナ禍での受験勉強は、本当にきつくて、大変だと思います。私は、公募推薦で落ちて、点数も全然足りてなかったのですが、それでも、「同志社女子大学」に行くことしか考えていなかったのも、毎日必死で頑張り、合格することができました。「最後まであきらめないこと」がとても大事だと思うので、頑張ってください。

